



年頭所感

明けましておめでとうございます。

一昨年は、梅まつり、桜まつり、小田原秋季の各俳句大会の第二部が、コロナ禍のため、すべて中止になってしまいました。昨年は、すべて実施されました。会長四年目にして初めてのことです。勿論、会員や理事の皆様のご協力の賜ですが、私たちは、コロナ禍から日常を取り戻しました。

また、昨年四月、当協会は節目の70回の総会を開きました。折りしもその十月、秋季俳句大会に市長の来臨を仰ぎました。協会に在籍して四半世紀、協会主催大会として初めてのことです。感激一入でした。

今年辰年。私たちは改めてこの経緯を礎に、竜に負けじと前へ進みましょう。

会員の皆様のご健康とご健吟を祈って止みません。

令和六年元旦

小田原俳句協会会長 池田 忠山

「俳句おだわら」10句抄(676号より)

佃 悦夫 抄出

たましひに重さありとや秋あかね

ときに鬼女時に仏や曼殊沙華

応へなきものへ語りて夜の秋

長き夜やペンと眼鏡とハーブティー

こよろぎの浜へと続く虫の声

初焼きの煙りの中の笑ひ声

十月の波の挫折と流木と

茄子焼いて向こうへ突きぬけてしまった

中央公園いも虫体操十七時

子蟪螂わらわら誰かいませんか

池田 忠山 抄出

夫見舞う橋の行き来や星月夜

うつし世をしばし忘れて走りそば

野に街に風立つところ狗尾草

爽やかや角をびたりと紙を綴ぢ

もう一度星を見上ぐる夜長かな

赤とんぼ捻りの風に乗りにけり

抜襟の美人画新酒汲みにけり

公園の大きき日だまり金木屋

奉納の玉垣一基豊の秋

驥尾に付す青蠅九里より十三里

星 一義

市川めぐみ

小宮 早苗

肥後ちさこ

門松 鳳文

新井たか志

小澤 園子

大石 雄介

大石 和子

杉山あけみ

齊藤 静

勝木 澄子

関戸わよこ

陌間みどり

小澤 純子

高杉掘三朗

大島美恵子

片野 秋子

鳥海 壮六

小島ノブヨシ



















## 第77回小田原桜まつり俳句大会

### 第一部 作品募集

兼題 「桜又は花」「蝶(春に限る)」「いづれも傍題

可)各一句一組 未発表作品に限る

締切 令和六年二月二十二日(木) 必着

整理費 一組に付き千円(句稿に同封、何組でも可)

投句先 〒250・0111 南足柄市竹松一四六三ー七

加藤かほる宛 ○四六五ー七四一五〇六一

\*作品は投句原稿どおり印刷しますので、楷書で、大文字、小文字ではつきりとお書き下さい。

\*第二部への参加・不参加もご記入下さい。

選者 協会役員及び各地有力作家(投句者に限る)

賞 県知事賞以下二十位まで 選者特選賞六人

### 第二部 俳句大会

日時 令和六年四月七日(日)

会場 小田原市民交流センター(UMECO)

受付 十一時 投句締切・十二時 開会・十二時半

整理費 五百円(呈飲料)

席題 春季雑詠二句 総互選

賞 市長賞以下五十位まで 参加賞

\*お願い 会場は飲食可能ですが、なるべく食事を済ませてご参集下さい。時節柄マスクの着用及び感染症防止対策にご協力下さい。

(主催) 小田原市観光協会 (主管) 小田原俳句協会

(後援) 各地俳句協会

## 立春句会のお知らせ

日時 令和6年2月4日(日) 雨天決行

集合 小田原城天守閣 本丸広場 10時

短冊つるし後句会 ・短冊は12月理事会にて

配布(立春・梅に因んだ句、1月の理事会ま

たは当日に持参下さい)

\*短冊は同じ所に集中しないで城址公園に広く

吊るしましょう。又、雨風に飛ばされないよ

うしっかりとくり付けましょう。

句会場 そびそ二宮呉服店2階(元オービックビル銀

座通り反対側角) 小田原市栄町2ー13ー1

(電話0465ー2218121)

\*なるべく食事を済ませてご参集ください。マ

スク着用等。

会場利用時間 12時〜15時(受付12時〜)

会